

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I.理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	事業所理念は、部署内に掲示し、フロア会でも職員間で確認、共有できている。管理者、職員は理念を共有してサービスの実践に繋げている。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	新型コロナウイルスの感染状況により、利用者と地域のつながりを持つ機会があまり出来ていない。土下の作品展示会には利用者と共同作品を出展し写真やケーブルを見て頂いた。事業所としては、運営推進会議、避難訓練などで地域交流はできている。又アルツハイマー月間には、認知症ケア連絡会として利用者で作った作品を地域に展示する事ができた。	・コロナで交流自体が出来てないが、作品展での出展等発信している。地域の方が作品を見られている様子をご利用者に伝えられることで繋がりになるのではないかと。 ・地域の様子をご利用者と双方向で交流できる取り組みも検討してみてもは。(オンライン活用など) ・地域によっては回覧板を地元の GH に回している地区もある。		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍でほぼ書面開催となっている中でもご意見をいただいている。リスクに関する質疑等もあり職員間で共有しリスク対策の強化につなげている。	・コロナ禍で書面参加の事業所が多かった。リモート参加でなら自宅に居ながらも会の参加可能。会場を外や公民館に変えて開催した事業所もあった。本来は顔合わせが理想である。 ・事業所職員との対面が困難であれば、運営推進委員は他場所集合し職員とのリモート開催も可能では。 ・外部評価の準備として普段の会議の中で、閲覧物を見ていただけるよう提示してみてもよいのではないかと。		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	市町村担当者とは、運営推進会議を通じて事業所の取り組みを伝え、協力関係を築くよう取り組んでいる。入退去、待機者数等の状況を毎月報告も行っている。	・連携は一方通行ではないので、市町村側からも「このようにした方がよい」という項目があれば良い。 ・大きな事故には報告書の提出を行い、助言も頂いている。		

5	身体拘束をしない ケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法 指定基準における禁止の対象となる具 体的な行為」を正しく理解しており、玄関の 施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り 組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	施設全体として、身体拘束ゼロに向 け取り組み、職員への研修を行い身 体拘束に関する理解を高めており身 体拘束はなし。みやこ村は玄関施錠 なし。令和４年５月よりヒトメク導入 によりセンサーマットは撤去し、ケア 通知開始している。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・虐待防止の配慮として職員同士が指摘し合える 風土が好ましい。 ・GH1階は玄関を一時的な施錠している。行事や ご利用者の希望によっては屋外に出て散歩等 を行っている。 ・「ケア通知」は意味が伝わりにくいで、「見守り センサー」という記述はどうか。
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連 法について学ぶ機会を持ち、利用者の自 宅や事業所内での虐待が見過ごされるこ とがないよう注意を払い、防止に努めて いる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	拘束、虐待のないケア周知のため、 身体拘束、虐待防止委員会を中心 に各部署に情報を繋げている。全職 員で虐待の芽チェックを行い自己の ケアの振り返り、不適切ケアの確認 を行い話し合いを行った。気付きは その場でお互い話し合えるよう努め ている。また研修会やe-ラーニング での個人ワークで学ぶ機会をもち職 員個々が虐待防止等に努めてい る。、		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・コロナが広がってから、施設は外部との接触がな く過重労働の中でも閉鎖性がストレスとなり虐待に 繋がる傾向あり。 ・お互いが言い合える、声掛けを意識しながら取り 組む事が不適切ケア防止に繋がっていく。 ・虐待の芽チェックを行い、場面を想定しながら話 し合えている。 ・面会で来所した際、丁寧な対応でその雰囲気 が虐待等はないことを感じとれた。
7	権利擁護に関する 制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事 業や成年後見制度について学ぶ機会を 持ち、個々の必要性を関係者と話し合 い、それらを活用できるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	成年後見制度、権利擁護に関する 研修を開催し、理解を深めている が、活用にいたっていない。 生活保護利用者１名あり。			
8	契約に関する説明 と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利 用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、 十分な説明を行い理解・納得を図ってい る	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	契約時の重要事項の説明や、利用 中でも今後の方向性等、家族等の疑 問解消に向け取り組んでいる。今年 度は料金値上げについて重要事項 一部改定を行っており、説明を行い 理解、納得いただいた。			
9	運営に関する利用 者、家族等意見の 反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者 や職員ならびに外部者へ表せる機会を 設け、それらを運営に反映させている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	住民集会や日頃の利用者の意見、 を聞き取りサービスに反映させてい る。家族アンケートを実施し、家族の 要望等も受け、運営に反映させてい る。又集計結果は家族、外部へ報告 している。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・運営に反映されている。具体例を入れればより 伝わる。 ・家族アンケートを活かし、どのように反映させた か等、具体的に記載してあると分かり易い。

10	運営に関する職員 意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員 の意見や提案を聞く機会を設け、反映さ せている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	代表者、管理者は、面談や毎月のフ ロア会議、日々の業務等の中で、職 員の意見を聴き反映に努めている。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や 実績、勤務状況を把握し、給与水準、労 働時間、やりがいなど、各自が向上心 を持って働けるよう職場環境・条件の整備 に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	代表者は、個人目標、人事考課によ り職員個々の実績や勤務状況等の 把握に努めている。年1回ストレス チェック、腰痛アンケートを実施し職 場環境・条件の整備にも努めてい る。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・代表者は職員の個人目標をサポートし意欲向 上に努めている。一つの目標に向かっていくことで 働きがいややりがいに繋がっていく。 ・代表者が職員一人一人の様子をよく見ている事 が伝わる。
12	職員を育てる取り 組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケ アの実際と力量を把握し、法人内外の研 修を受ける機会の確保や、働きながらト レーニングしていくことを進めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	代表者は、職員個々のケアの力量 等を把握し、職員に合った研修を受 ける機会を確保している。オンライン 動画研修アプリを活用し、働きながら 学習できる取り組みも行っている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・オンライン動画研修、スマホで動画の研修等が ある。 ・オンライン動画を視聴する時間は業務外になっ てしまうことが多いのではないかな？
13	同業者との交流を 通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交 流する機会を作り、ネットワークづくりや 勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サ ービスの質を向上させていく取り組みをし ている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	認知症ケア向上連絡会にて人権フェ スティバルに向け、作品づくりに取り 組んでいる。展示会への作品提供。 法人内のグループホームでの事例 検討会開催では事例発表を行うこと で、チームでの取り組みケア改善に 向けて取り組めた。			
14	本人と共に過ごし 支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場に おかず、暮らしを共にする者同士の関係 を築いている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員は、本人の残存機能や得意な 事等を把握し、家事や新聞整理など 役割として職員と一緒に、時には自 立して行えるよう支援している。又季 節の作品づくりを行い、一緒に環境 づくりを行っている。			
15	馴染みの人や場と の関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの 人や場所との関係が途切れないよう、支 援に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍により、活動は限定的では あるが、面会室を利用したご家族と の面会実施や、要望を踏まえた外出 行事、ふるさとドライブ等の計画を実 施している。	・馴染みの美容室や喫茶店に行ったりしたいが、 コロナ拡大からは行けていない。ふるさと外出で自 宅を見に行ったりする事が出来た。 ・地域へのドライブをしたときに、ご利用者の馴染 みの方から声をかけていただく場面もあり、つなが りを感じることができた。 ・他事業所ではラインアプリを活用しテレビ電話や スマホで撮った写真を送ったりしている所もあり。		

Ⅱ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎月の住民集会や日々の生活の中で一人ひとりの暮らしや意向の把握に努め、プランに連動し反映できている。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人がより良く暮らせるよう、家族や専門職等と話し合い、課題やケアに対して意見を反映した計画書を作成している。月1回モニタリング、3か月1回計画書見直しを実施している。	・どうすれば評価をAに近づけれるか、職員間で考え話し合いが必要ではないか。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・出来た⇒次へ⇒…の課題克服のサイクルを行う。 ・介護計画書は、考えて作成されており安心していている。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	介護計画に基づいたケアを行い、計画に沿った記録を個別に残している。職員間で情報共有し計画の見直しに活かしている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・電子カルテになり記録の書き方は医療と介護で違いもあり他者のものが参考にもなる。次に繋がるケア、根拠に繋がる記録など。
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者、家族ニーズに合わせ多職種(管理栄養士・歯科医師、歯科衛生士・言語聴覚士・理学療法士・老健看護師など)との連携を図り柔軟なサービスとなるよう取り組んでいる。	・給食になり栄養面は配慮出来ている。お刺身などの提供もできるようになった。 ・給食ではあるが、できる所をGHで行ってみては？利用者の思いを大事にしていてあげて欲しい。(例：バイキング形式で食事を盛る量の増減を本人が決める等) ・「食べる」が大事であり楽しみの食事でもある。 ・ご飯や汁を利用者がよそうなど役割にもなるので今後検討。		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍で地域資源の活用が減ってきているが、訪問散髪、防災活動で地域との協力体制、利用者要望での地域への外出ドライブを実施し豊かな暮らしができるよう支援している。	・職員は「地域資源」をどう捉えているか。外食、散髪、スーパー、銀行等必要なものが資源である。活用出来ているだろうか。 ・自動販売機、テイクアウト、移動販売、通院時の売店を利用出来ている。		
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人、家族の希望に沿い、かかりつけ医を基本とし、法人の医療機関へ変更する際には十分な説明を行い、了承を得ている。定期的な通院、必要時での受診も行い主治医に状態報告を行う事で適切な医療が行えている。又家族への報告も行えている。現在電子カルテとなり、法人医療			

				機関とは今まで以上に連携しやすくなった。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入院時には関係者に必要な情報を提供し、退院時の連携にも努めている。電子カルテとなり、入院時の状態確認も行えるようになりより早く情報共有ができるようになった。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・法人の協力病院以外の場合、地域連携室や看護師と連携している事を記載。 ・家族としては退居の時に、次を探さないといけないが順番待ちで入れない事もあり不安が募る。
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	グループホームでは終末期ケアの対応はしていない。重度化した利用者については、併設している老健でより専門的な対応、看取りケアが出来る事を本人、家族へ説明、意向を確認し取り組んでいる。老健スタッフへの情報提供や医療機関とも連携を図り支援している。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居時の説明、状態の変化により随時意向の確認が必要になってくる。それに伴い本人、家族への説明を丁寧に行っていくことで安心に繋がる。
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	定期的に急変時や事故発生時を想定したロールプレイを実施し、対応出来るよう努めている。又老健看護師より指導、助言を受けている。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	災害時を想定した防災訓練を地域の方と協力し実施している。災害時想定での非常食提供の訓練、発動機稼動訓練も予定している。 災害における協力に関する協定書を結んでいる。	・今年度は、コロナ感染やゾーニング実施があり計画通りには実施できておらず。今年度内で予定し取り組む。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・去年は防災訓練に土下地区の住民を招いた事で地域との関わりにもなりとても良かった。 ・事業所全体で取り組まれていることが分かる。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーに配慮したケア、一人ひとりに合った言葉かけを心がけている。人権研修やチェックリストによる自身のケアの振り返り、勉強会も行っている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・職員は親しみがある話し方も第三者が聞いたらどう思われるか考える。 ・家族としては名前でもらえるのは温かみがあり嬉しい気持ちがある。

27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員は、一人ひとりの生活リズムを把握する事、意向要望を尊重し、個別ケアの取り組みにも努めている。その人らしい暮らしが出来るようプランに反映し支援している。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. ほぼできている D. ほとんどできていない	定期的に嗜好調査実施。コロナウイルス感染の影響で利用者と一緒に調理等は出来ていない。利用者の要望を聞き、テイクアウトや行事食等計画し、実施している。又管理栄養士により季節を感じる食事の提供が出来ている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. ほとんどできていない D. ほとんどできていない	・コロナ状況が変わらないと考えると、一緒に作る、食べる、片付け等項目をかえる必要もあるのでは。 ・コロナ禍で、準備や片付けができてない。一緒に作り、一緒に食べる。 職員も分かれて食事している
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎日食事量、水分量の観察、記録を実施し健康管理を行っている。管理栄養士、言語聴覚士と連携し、一人ひとりに合った栄養の確保、状態に応じて、嚥下評価を実施し食事形態を確認している。本人の力を活かした食事習慣となるよう指導を受け支援している。			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	歯科医師、歯科衛生士による OMAT で口腔内の確認、指導、助言を受けている。助言をもとに毎食後一人ひとりに合った口腔ケアを行い清潔保持に努めている。肺炎予防に繋がりを、肺炎発生なし。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・毎食後口腔ケアを実施している。 ・肺炎ゼロを記載するべき。
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々の排泄パターンを把握し、個別に支援、見直しを行っている。朝食時に乳製品の提供や、便秘傾向の利用者は主治医に相談し薬の調整を行う。便秘予防に毎日の体操、散歩も行っている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・便秘は体調不良や心身に影響あり。
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	週 2 回の入浴を実施。本人の状態に合わせて対応している。拒否される方もあり部分浴や清拭等個別に支援をしている。			

33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、 安心して気持ちよく眠れるよう 支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日中活動的に過ごして生活リズム を整え、夜間安眠出来るよう支 援している。ソファや畳ベッドを 活用し安心して過ごせる居場所 の提供を工夫している。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	服用している薬についての効果 や副作用について理解し、主治 医指示の用法用量を守り、マニ ュアルに沿って服用介助してい る。状態により薬の変更もあり 職員間で情報共有し服薬支援 を行っている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・落下薬や誤薬等注意し、安全 に管理や服薬介助を行う。
35	役割、楽しみごとの 支援	張り合いや喜びのある日々を過 ごせるように、一人ひとりの生 活歴や力を活かした役割、嗜好 品、楽しみごと、気分転換等の 支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人ひとりの趣味や能力に応じ 、手作業等の役割や、行事レク リエーションを提供。天気の良 い日は散歩したりし、気分転換 等の支援をしている。さつま芋 、玉ネギ作りで観察したり、収 穫する事で季節を感じていただ いている。	・コロナの影響で家族との交流 等、以前出来ていたことが出来 なくなってきた。 ・本人の希望で自宅に居た時の 習慣に合わせ週1回鰻とお酒を 嗜むことを行っていた事例あり。 ・18人すべての利用者の把握は できているか。 ・1人ひとりの笑顔が出る場面 が作れるように関わりを持っている。 広報誌等で楽しみの場面等が分 かる。		
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそ って、戸外に出かけられるよう 支援に努めている。また、普段 は行けないような場所でも、本 人の希望を把握し、家族や地域 の人々と協力しながら出かける るように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍の為、ドライブ外出を計 画し状況を見ながら対応してい る。毎月の住民集会で外出先の 要望を確認し、希望に添えるよ う支援している。戸外で職員と 共に畑や花を見る等、季節を感 じる支援を行う。	・できる事として、暖かい日には 屋外への付き添い外出を行い、 花や畑を見に行ったり、一人ひ とりでゆったりとした時間を過 ごしたりもした。中には屋外に 出たくないと言われる方もいる ので、希望に寄り添い配慮して いる。		
37	お金の所持や使う ことの支援	職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一人 ひとりの希望や力に応じて、お 金を所持したり使えるように支 援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	管理は職員が行っているが、家 族預り金より、移動販売でのお 菓子等の購入、又通院時に売店 で好きなものを自分で支払い購 入している。使う事はないが、 自己管理1名あり。			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電 話をしたり、手紙のやり取りが できるように支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族に確認しながら、希望時に 電話の支援を行っている。年賀 状や絵葉書など送り家族とのつ ながりを大切にしている。			

39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	床はバリアフリーとなっており、手すりを設置し、自立した生活が送れるように工夫している。家具などの生活感や、季節の飾りを一緒に作成し取り入れている。外部ラウンドチェックにより環境整備にも努めている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・家族面会が出来なく貴重なご意見がもらえない状況が続いているので、外部有識者が2～3ヶ月に1回環境の評価を行い気づきを職員に伝達している。 ・家族としてはどんな部屋でどんな生活しているかなと思っている、家族アンケートは面会出来ない中での現状で分かる範囲での意見となってしまうている。 ・リハビリ職員によるADL評価実施、環境調整も相談している。
IV. 本人の暮らしの状況把握・確認項目（利用者一人ひとりの確認項目）							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日常の関わりや会話の中で本人の意向を確認しつつ、職員間で情報を共有し、日々のケアに反映させている。			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人や家族に生活歴や習慣などの情報を聞き、ケアやサービスに反映し支援している。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者は、主治医や看護師、栄養士、リハビリスタッフ等、多職種と連携し、健康面、医療面、安全面、環境面のケア・支援を受けている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・家族視点としては、受診結果報告や定期的な本人の状態報告等、細かな電話連絡があり安心している。
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人が、これまでの暮らしの習慣が継続できるような支援に取り組んでいる。職員主体にならないよう自分ペースでの暮らしとなるよう配慮しケアを行っている。			
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近（自室等）に持つことができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	居室に家族の写真を飾ったり、仏壇やタンスを持っている利用者もいる。馴染みの食器等使用している。ミシンを持参している方もあり。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・昼夕は給食開始しているが、朝食は馴染みのある自宅で使用していた茶碗・箸を使用している。水分補給時は都度自身の湯飲み使用。 ・自宅にあったぬいぐるみを居室に置いて見てもらうだけでも安心に繋がる方もいる。

45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナウイルス感染状況により、希望時の外出はほとんど実施できていない。正月には地元の神社へ初詣や要望を取り入れた外出行事は、限定的ではあるが行っている。地域の催事も中止になっており参加していない。	・お正月には初詣ドライブ外出を行った。神社付近になるとご利用者が道順を教えて下さった。 ・職員のみに対応だが、土下地区のとんど祭では地域の方々との交流も出来た。 ・土下地区には施設があるという事が大きな強みである。		
46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人に苦痛のないよう、好きな事や得意な事、できることを活かした役割やレクリエーションを提供している。			
47		本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	行事やレクリエーション等、日々の関わりの中で職員や他入居者と会話する機会を得ている。デイルームの席は利用者同士の相性等に配慮し、ソファでは利用者同士の会話もあり笑顔が見られる場面もあり。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・月1回住民集会での開始閉会の挨拶や毎日の献立発表、歌や踊りの披露が好きな方には月1回の誕生会やレク時に発表の場もある。また、ご利用者の誕生会があり、バースデーカードやケーキを用意し対象者をお祝いしている。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナウイルスの感染拡大により、本人は、地域との交流がほとんどできていない状況である。地域の作品展や他事業所との共同作品作りを行うことで間接的に地域と関わりがもてている。	・地域の人が集まるような場所に出かけたり、車で通過するなどでも交流となる。		
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	在宅では対応しきれない専門職と連携しながら安心・安全な生活を送れている。「ここに入れて良かった」「皆ええ人でありがたい」等のお言葉をいただいている。	・ご利用者から「感謝している、楽しんでいる。」との有難いお声を頂いた。 ・自己主張できない方も多い。どんな場面で笑顔が見られるのか、表情が良いのかを職員間で共有し安心して過ごしていただける支援を日々取りくんでいく。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・非言語的コミュニケーションで相手を知ることは大事である。